

# 第3回AI共生型社会実現促進ワークショップ

9/11(木)  
15:30-17:40

オンライン/参加費無料  
※応募者多数の場合、申込早期締め切りの可能性有  
主催:IPA(独立行政法人情報処理推進機構)

ヒトとAIが共生する社会を実現するためには、AI開発と日本の社会的課題を同時に解決するエコシステムの構築が必要です。この度、IPAでは、産官学の有識者と共にデータ・AIの利活用とリスクの両面から「AI共生型社会」の将来像を描き、開発と課題解決に関する知見・ノウハウを集積する場として、「AI共生型社会実現促進ワークショップ」を開催いたします。第3回は「医療・ヘルスケア」をテーマに、多様な有識者が日本における社会課題解決の観点から様々な知見を共有します。

## プログラム

- 15:30-15:40 開会挨拶  
IPA(独立行政法人情報処理推進機構)  
理事長 齊藤 裕
- 15:40-16:00 基調講演①  
「医療・ヘルスケア業界における生成AIの取組～効果的かつ安心な生成AIの活用に向けて」  
日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA) WG4 SuBWG-B リーダー  
Ubie株式会社 政策渉外参事  
井上 真夢 氏
- 16:00-16:20 基調講演②「日本の医療・ヘルスケア分野におけるLLMの現状と課題(仮)」  
日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA) 特別顧問  
礒崎 裕晃 氏
- 16:20-16:40 基調講演③「大規模言語モデルの医療現場での活用と展望」  
東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター医工情報学部門・准教授  
自治医科大学データサイエンスセンター特別特命教授  
今井 健 氏
- 16:40-16:50 休憩
- 16:50-17:30 パネル討論  
パネリスト:  
日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA)/Ubie 井上 真夢 氏  
日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA) 礒崎 裕晃 氏  
東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター/  
自治医科大学データサイエンスセンター 今井 健 氏  
ファシリテーター:  
株式会社日本総合研究所 リサーチ・コンサルティング部門 上席主任研究員 川崎 真規 氏
- 17:30-17:40 クロージング  
IPA(独立行政法人情報処理推進機構)  
理事 奥村 明俊

<Contact Us>

東京都文京区本駒込2-28-8文京グリーンコートセンターオフィス

IPA (独立行政法人情報処理推進機構) 国際・産業調査部

E-mail : ga-ra-info@ipa.go.jp



Information-technology  
Promotion  
Agency, Japan

お申込みは2次元コードもしくは下記URLから

<https://info.ipa.go.jp/form/pub/application/ai-workshop202509>



# 第3回AI共生型社会実現促進ワークショップ

2025年9月11日(木)15:30-17:40

## 講演者紹介 (ご講演順)



### 「医療・ヘルスケア業界における生成AIの取組 ～効果的かつ安心な生成AIの活用に向けて」

日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA) WG4 SuBWG-B リーダー  
Ubie株式会社 政策渉外参事  
井上 真夢 氏

略歴：2014年に総務省に入省。約8年間にわたり電気通信事業分野における消費者保護、郵政行政、地方の情報通信施策振興、さらにはデジタル田園都市国家構想の推進といった多岐にわたるデジタル領域の政策立案に従事。2022年にヘルステックスタートアップのUbie株式会社に入社。ビジネスパートナー・アライアンスなどの事業開発チームにジョイン後、Public Affairs（政策渉外）チームへ。厚生労働省や経済産業省をはじめとする関係省庁の窓口や、業界団体活動を担当。日本デジタルヘルス・アライアンス（JaDHA）のWG4/SuBWG-Bリーダー、日本医療ベンチャー協会主幹。



### 「日本の医療・ヘルスケア分野におけるLLMの現状と課題（仮）」

日本デジタルヘルス・アライアンス(JaDHA) 特別顧問  
碓崎 裕晃 氏

略歴：第三者認証機関の技術研究所、webサービス関連の民間企業、東京とシリコンバレーに拠点を置くAI研究所、複数のヘルスケアスタートアップなどを経て現職。2023年に発表された、ChatGPTが日本の医師国家試験に合格した論文の共著者。同じく2023年に公開された、生成AI関連では日本初となる業界特化型のガイドライン「ヘルスケア事業者のための生成AI活用ガイド」の主執筆者。AI/LLMなどの最新技術を用いた製品のプロダクトマネジメント、プロジェクトマネジメントや社会実装・ビジネス応用が専門。



### 「大規模言語モデルの医療現場での活用と展望」

東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター  
医工情報学部門・准教授  
自治医科大学データサイエンスセンター特別特命教授  
今井 健 氏

略歴：1999年東京大学理学部数学科卒、2005年：東京大学大学院情報学環 学際情報学府博士課程修了、博士(学際情報学)、同年より東京大学医学部附属病院企画情報運営部特任助手、2008年米国MayoClinic客員研究員、2014年東京大学大学院医学系研究科疾患生命工学センター医工情報研究領域講師等を経て、2016年より現職。  
専門は医療情報学で、医学医療における知識表現・知識推論処理、オントロジー工学、自然言語処理と大規模言語モデル、臨床医学データベースの活用と機械学習適用、医療情報の標準化、などの領域で研究を展開。日本医療情報学会理事。

第3回 AI共生型社会実現促進ワークショップ

[https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/ai\\_ws3.html](https://www.ipa.go.jp/digital/chousa/ai_ws3.html)

2025年07月18日 独立行政法人情報処理推進機構

©Information-technology Promotion Agency, Japan (IPA)

<https://www.ipa.go.jp/>